

## テーマは「挑め！やり抜け！最後まで!!」 運動会練習が始まりました。



運動会当日まであとわずかとなりました。校庭と体育館をフルに割り当て練習する特別日課が2週間続き、136周年校庭運動会を迎えます。

猛暑は依然衰えない様子で、校庭での練習では熱中症への対応もあって、木陰で説明を聞いたり、十分に休む時間をとったりして練習を始めました。台風の後には吹く風も少しさわやかになりホッとしています。児童会で決定した「挑め！やり抜け！最後まで!!」のとおり、一人ひとりが競技や演技の中であきらめず最後まで全力で取り組むことをめざして、練習に取り組んでいます。

児童会で決定した「挑め！やり抜け！最後まで!!」のとおり、一人ひとりが競技や演技の中であきらめず最後まで全力で取り組むことをめざして、練習に取り組んでいます。



5,6年生組体操は8月から体育館で技を積上げています。

朝の冠着山に「GO!」とバトン練習の音が響いて、リレー選手の早朝練習が始まりました。選ばれたからこそ、プラスアルファの練習に努力することを上級生から学んでいます。



3,4年生の「よさこいソーラン」はビデオを使って特訓中。



1,2年生はフラフープをマスター、木陰で休みつつ交代して場所と動きを覚えています。



### 「松尾芭蕉のまんが」が図書館に！

「まんが松尾芭蕉の更科紀行」の作者、漫画家のすずき大和さんが、卒業生でHP連載の「更級への旅」でおなじみの大谷善邦さんと本校を訪れて下さいました。稲荷山の「ふる里漫画館」の創設にも携わったそうで、漫画教室のワークショップで千曲市にしばしば来られています。図書館の「まんが更科紀行」2冊に素敵なイラストとサインを描いていただきました。

### 「戸上中 臼井校長先生」が 一年生教室に！

戸倉上山田中学校の3年生2名が職場体験で本校に来ていました。その様子を見に中学校の臼井校長先生が一年生の教室を訪れてくれました。一年生は「中学って何」と興味シンシン。中学生の2人は半日で一年生と仲良くなって、しっかりとお手伝いをしてくれました。

これから進学する6年生の授業も見に来てくれるそうです。



## 「どの子も楽しみな、運動会へ」お家の方々へ

リレー選手の選考にあと一步で悔しがる子、「紅が勝つ」いや「白が勝つ」と今から勝敗に夢中になる子がいる一方で、この時期が憂鬱なお子さんはいませんか。何回走ってもいつも5位、6位だったり、みんなができる技がいつまでたってもできないと、学校に行く足よりも重くなることでしょう。

「バカの壁」の著者で有名な養老孟司さんは、あるコラムの中で「知育、徳育よりも体育のほうが(いま)危ない。」と言っています。「体育」を体を動かすことすべてとすると、それがおっくうな子どもが増えているそうです。理由は外遊びをしない、便利な中で自分で動いて生活することが少ないなど、育つ環境自体が昔とはずいぶん違うことが原因と考えられるそうです。また体をコントロールすることは、自分を抑制する力「徳育」にも関係し、それが20年前の小学生と比べると6年生が2年生並になっているというデータもあるそうです。そう考えると「運動好き(スポーツでなくても)」な子にすることは、小学校時代に大変重要なことに思えます。

今年の運動会でも、一人ひとりの目標を決めます。お家の方々へ、ぜひそれを知って応援してあげてください。順位や技のでき不出来だけでない、子どもの成長を応援していただければと思います。

学校は10月に全児童の体力調査を行います。その結果をお知らせして更級の子供たちの運動づくりに何が必要かをお知らせしていきたいと思えます。